

## 平成29年度秋田県総合政策審議会専門部会 意見提出票

案件名	ふるさと教育の取り組みに対する意見
(具体的な内容)	
<p>人材育成部会において、『ふるさと教育を基盤とし地域等と連携したキャリア教育の充実』が施策の筆頭に挙げられており、歓迎すべきことと考えております。</p>	
<p>この“学びの場”に連携し“研究する場”と“実践する場”づくりが大事になります。</p>	
<p>本県は、少子高齢化という観点から申せば、国際的に先進しているわけであり、こういう地域の未来展望を自ら率先して描き、諸課題に関する解決の選択肢を、ビッグデータ等も活用</p>	
<p>しながら、極めて客観的、学術的に研究するチームや機関を有する価値を感じております。</p>	
<p>中枢・中核都市や周辺町村のそれぞれの町づくりの在り方やそのアプローチの仕方についてかかる観点から備えておくことも肝要です。</p>	
<p>この青写真を中核として、行政や県民、NPO、企業、農業、教育などが、それぞれの役割を相互理解して、地域社会を形成していくフォーメーションづくりが、Ⅲ期プランの大きな課題になるのではないのでしょうか。</p>	
<p>既に、一部の研究者や地域起こしの実践者、学生などの間で、この芽となる活動が点在しており、相互に輪を広げてネットワークを組んでいく兆候も見受けられます。まずはこれらの</p>	
<p>動きに適切な後押しをしながら、地域づくりや持続可能社会づくりの分野において、国内はもとより、国際的にも傑出した活動と人材を輩出する地域を目指すことについて、是非、</p>	
<p>ご議論賜りたくご意見申し上げます。</p>	
御氏名	山本 智

※案件名には、「〇〇戦略への取組に対する意見」のように御記入ください。

※案件名の下の方欄に、御意見や御提言の詳細な内容を御記入ください。(参考様式)

平成29年度秋田県総合政策審議会専門部会 意見提出票

<b>案件名</b>	秋田のうまいものの取り組みに対する意見
(具体的な内容)	<p>「持続可能な地域づくりには持続可能な食づくり」が大事ではないか、という提言がふるさと定住・定着部会であがっており、本件は産業、農業、観光の各分野に及ぶため、意見提起いたします。</p> <p>典型的な日本海型気候にある本県の食資源は、はっきりした四季と沿岸/山間、県南/央/北の多様性によって、極めて多彩です。一方、旬が短期間であり、十分なロット量に満たない食材が多いなどの特徴もあるため、従来の流通網に乗せた商戦略には限界を感じます。</p> <p>地産地消・外商課を設けて、積極的に資源発掘と外貨獲得に努力して県もあります。そこでは、無農薬栽培・無添加加工の持続可能性の高い商品も多く、数多いコンテストを催し、生産者のモチベーション向上やPR活動を行っています。また、Aさんの野菜とBさんの技術を組み合わせることで商品化を行うナビゲーターなどが存在しています。</p> <p>戦略3,4においても議論が進められている事項と思いますが、小ロット・多彩という特徴の食材を、販売や観光に結び付けるためには、生産者や販売業者などの枠を超えて、異業種連携などを積極的に講じていく仕組みが必要であり、より踏み込んだ具体的施策について、ご議論賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
<b>御氏名</b>	山本 智

※案件名には、「〇〇戦略への取組に対する意見」のように御記入ください。

※案件名の下の方欄に、御意見や御提言の詳細な内容を御記入ください。